

地域の写真を市民のみなさんから
も募集します

★地域のかがやき★



クリスマスお楽しみ会 (今城幼稚園)



サンタさんからプレゼント (行幸幼稚園)



赤ちゃんとお母さんのサークル「ららら赤ちゃん」クリスマス会



きずな・グラウンドゴルフ大会 (笠加コミュニティ)



トールペイントでクリスマスリース上手にできたよ (ゆめクラブ)



力をあわせておいしい餅つき (笠加コミュニティ)

編集後記

新年あけましておめでとうございま
す。
今年はい年です。昭和28年の巳年に
テレビ放映が始まり、今年で、60年の
選歴を迎えます。
テレビ・ラジオ・新聞等のマスメディ
アは、世の中の出来事を広く国民に伝
える使命を持っています。
私たちの「議会だより」も、議会の
模様や議員の活動などを広く市民の
方々に知っていただくことが、務めだ
と思っています。
そのために、委員は日ごろからその
記事の内容や表現などを検討し、より
多くの方々に読みやすく、わかりやす
い広報紙の作成に心掛けています。
今後、なお一層研さんに努め、皆さ
んに愛される「議会だより」の発行に
まい進していきたいと思えます。
廣田

次回の定例会の予定

(インターネット中継のある日)

- 2月22日(金) 9:30～ 本会議
- 28日(木) 9:30～ 本会議 一般質問
- 3月1日(金) 9:30～ 本会議 一般質問
- 4日(月) 9:30～ 本会議 一般質問
- 5日(火) 9:30～ 本会議
- 22日(金) 9:30～ 本会議

お気軽に傍聴してください。
(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp/~gikai>

インターネット
中継はこちら
から

この市議会だよりは
再生紙を使用しています

第33号 平成25年2月1日発行
発行/瀬戸内市邑久町尾張300-1 瀬戸内市議会

議会改革に取り組む「議会基本条例」制定
補正予算審議
「豆田工業団地」新設道路の
18人が市政を賛す
一般質問
根室報告
地域のかがやき

議会だより せとうちお

第33号
2013.2.1

瀬戸内市国際交流フェスタ2012
～朝鮮通信使から未来に向けて～



議会改革に取り組む

議会基本 条例制定



議会報告会開催決定！

このたび、制定した議会基本条例に基づき、中学校区ごとに議会報告会を開催します。

市民の皆さまへ

議会報告会へ参加のお願い

私たち瀬戸内市議会は、初めての試みとして、今回「議会報告会」を開催し、議会で議論された内容をご報告させていただくとともに、市民の皆さまと意見交換を行い、今後の市政に活かしていきたいと思っています。

つきましては、できるだけ大勢の皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思っていますので、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。 瀬戸内市議会議長

4月27日(土) 場所 19:00~
ゆめトピア長船

長船班

班長 小野田 光
副班長 島津 幸枝
河本 裕志
茂成 敏男
松本 和生
廣田 均
柴田 巧

4月20日(土) 場所 19:00~
牛窓町公民館

牛窓班

班長 久保木 彰
副班長 馬場 政教
竹原 幹
田中 伸五
石原 芳高
日下 敏久
室崎 陸海

4月13日(土) 場所 19:00~
中央公民館

邑久班

班長 小谷 和志
副班長 原野 健一
厚東 晃央
森下 博志
平原 順二
木下 哲夫
中村 勝行

開催日程

議員が活発に議論を交わし、市政における問題点を広く市民に明らかにし、市民の理解と参加を得ていくことが必要であり、議会と議員活動の原則を定めるものである。

主な内容

市民との関係

議会は、市民に開かれた議会を目指して、議会の活動に関する情報を公開するとともに、市民に対して説明する責任を果たさなければならない。

議会は、本会議のほか、すべての公式な会議を原則公開する。

議会報告会

議会は、市民への報告及び市民との意見交換の場として、議会報告会を開催する。

(左ページ参照)

反問権

市長等の執行機関は、本会議及び委員会において、議長又は委員長長の許可を得て、議員の質問に対し反問することができ

自由討議

議会は、議員による討議の場であることから、議員相互の討議を行い、議論を尽くさなければならない。

賛否の公表

議会は、議案に対する各議員の賛否について、無記名投票によるものを除き、議会広報紙、ホームページ等で公表する。

最高規範性

この条例は、議会における最高規範である。



議案審議のため 参考人を招致

平成24年9月に、議会の本会議において参考人招致を可能とする、地方自治法の改正がなされ、瀬戸内市議会においても、24年11月29日に、会議規則の改正が行われた。

この改正により、11月定例会に上程された、教育委員会委員の同意議案を審議するため、教育委員候補者である藤原一成氏を参考人として招致し、所信を聴取した。

※参考人招致とは、議案等を審議するため、参考人に対し議会への出席を求め、必要な情報を聴取することである。

視察報告

11月15日・16日

議会運営委員会

視察先 山口県萩市議会
山口県周南市議会

目的 議会運営全般・申し合わせ事項についてこの調査

萩市議会は、議会運営の簡素化に努めていた。周南市議会は、公開・対話をキーワードに議会運営等に取り組んでいた。

瀬戸内市議会としてもこれらを参考に、また、議会基本条例の制定（平成25年1月1日施行）を機に、その目的である議会の活性化、市民の信託に込められる議員活動、市民参加のもと公正で民主的な市政の実現に向けた議会運営に、より一層取り組んでいく必要がある。

一般会計補正予算 など43議案を可決

豆田工業団地内に新設道路

8200万円

豆田工業団地周辺の慢性的な渋滞緩和と、団地への直接的なアクセスが図れるとして、豆田工業団地への新設道路の予算8200万円が計上され、賛成多数で可決した。

答 安全に県道に接続するためである。

問 全体の事業費は。

答 約4億1千万円になる見込みである。

〈質疑〉

問 団地の真ん中を通るルートにした理由は。

反対 1mあたり70万円という多額な費用をかけた高級道路であり、また、生活道路の補修要望に充分対応できていない状況の中で、優先順位が違うと思うので反対である。



〈討論〉

宮下工業団地の水道工事

3400万円

宮下工業団地へ企業誘致促進のために、水道管の敷設工事3400万円が計上され、賛成多数で可決した。

〈討論〉

反対 市で全額拠出するのは反対。

賛成

企業に来てもらうためには賛成。

〈質疑〉

問 水道管工事をなぜ市が行うのか。

答 企業誘致の促進のために行う。



市民に親しまれる窓口に

250万円

平成25年4月から、各種証明業務、本庁舎内の案内業務を一ヶ所の窓口でサービス提供する総合窓口を、1階正面に新設する予算が計上された。

〈質疑〉

問 玄関近くなので、冬の寒さ対策は。

答 内側は手で触れて開く自動ドアに変える。

ごみの収集方法

全市統一に

平成25年4月から、長船地域の燃えるごみもフリーンセンターかもめで処理する。

〈質疑〉

問 分別マニュアルの内容がどう変わるのか。

答 1月中をめどに分別方法を見直す。

問 市民への周知は。

答 説明会等を開催し、周知を図る。

スポーツ施設の利用料金を統一

牛窓体育館、長船・邑久のスポーツ施設の利用料金を値上げする条例を可決した。

〈質疑〉

問 なぜ、値上げするのか。

答 合併時、不均衡であったのを段階的に統一するため。

人事案件

監査委員

鳥越 貞成さん

を選任することに同意

教育委員会委員

水野 勝紀さん

藤原 一成さん

を任命することに同意

選挙管理委員

雪吉 信男さん 竹内 満さん

太田 英晴さん 木村 末廣さん

選挙管理委員補充員

大熊 一郎さん 岡 利信さん

奥平 勝顕さん 野崎 一正さん

地方自治法118条第2項の規定により議長の指名推薦により選挙され当選

一般質問

竹原 幹

1. 学力向上について
2. 新図書館の建設について

日下 敏久

1. 市政への取り組みについて
2. 錦海塩田跡地について
3. 駅周辺整備について
4. 格差のない安全安心、美しいまちづくりについて

森下 博志

1. 市道南北線の延長計画について
2. 下水道供用開始区域について

平原 順二

1. 市長任期後の対応について
2. 市道にソーラー発電を設置しては

厚東 晃史

1. 国民健康保険について
2. 市民の足(交通)の確保について
3. 市民の安全・安心を第一に考えた防災について

島津 幸枝

1. 錦海塩田跡地について
2. 誘致企業、進出企業の位置づけと市内業者の振興について
3. 保育園・幼稚園整備について

木下 哲夫

1. 小・中学校における諸問題について
2. 市長選挙について

河本 裕志

1. ICT(情報通信技術)活用について
2. ごみ30%減量作戦について
3. 国際交流事業について

田中 伸五

1. 教育長候補者の公募について
2. 教育問題について
3. ふるさと納税について

久保 木彰

1. 教育行政について
2. 市民便利帳について

中村 勝行

1. 国際・国内交流事業について
2. 喜之助フェスティバルについて
3. 図書館について

室崎 陸海

1. 知的障がい者(児)及び精神障がい者施策について

小谷 和志

1. 市民病院の地方独立行政法人化について

廣田 均

1. 津波対策について

柴田 巧

1. 入札について
2. 新病院の運営について
3. 改良事業について

石原 芳高

1. 急性期(救急)患者の対応について
2. 瀬戸内市民病院について

原野 健一

1. 消防団組織の変更について
2. 錦海塩田跡地活用基本計画と実施について

馬場 政教

1. 災害時の障がい者への対応について
2. 今後の教育問題について

久保 木彰

1. 教育行政について
2. 市民便利帳について

中村 勝行

1. 国際・国内交流事業について
2. 喜之助フェスティバルについて
3. 図書館について

竹原 幹

問 学力向上、問題行動への取り組みは

答 危機感を持って対応に努める

問 今年の全国学力テストは、岡山県が小学校で45位、中学校で42位であり、本市は、その県平均より悪い結果が出ている。感想は。

教育委員長 職務代理者 厳しい結果であると感じ、重く受け止めている。

問 暴力行為発生率は、中学校においては県下でワースト2位である。また、不登校の出現率は、小学校でワースト4位、中学校ではワースト2位である。さらに、交通事故危険度ランキングは、県下でワースト1位である。

教育委員長 職務代理者 本市の課題は、下位層の児童・生徒が多いこと、家庭学習の時間や家で復習をする機会が少ないことである。教育委員会、学校関係者が危機感を持って取り組んでいく。

問 この不名誉な数字についての感想は。

教育委員長 職務代理者 必要があれば、積極的に予算付けしていく。

市 長 必要があれば、積極的に予算付けしていく。



授業風景

問 市長2期目の挑戦は

答 継続させていただきたい

問 市長就任前の7つの提案の実現状況は。

市 長 大部分については着手できたと思うが成果の出ているものは改めるか、継続的に取り組んでいきたい。また、次の任期も継続するの。

問 錦海塩田跡地利用の基本計画作成にあたり、連合体との協議の中で長期的な雇用が生まれるような計画を市から提案しては。

総合政策部長 長期的な雇用が生まれ、市が積極的に発展していくような跡地利用をするよう、市として今後も提案したい。

問 合併特例債を利用してJR3駅の整備を考えては。

総務部・総合政策部参与 もう一度3駅の整備費等を見直し、実現可能なものから、財源も含めて再検討したい。

問 下水道等整備の進まない地域の道路舗装工事要望にこたえては。

産業建設部長 緊急的なものを優先しているが、要望に対して実施できるよう努めていきたい。



改善が求められる駅トイレ(JR大富駅)

長期的な雇用が生まれ、市が積極的に発展していくような跡地利用をするよう、市として今後も提案したい。

緊急的なものを優先しているが、要望に対して実施できるよう努めていきたい。

森下 博志

問 南北道の延長工事の考え方は

答 25年度に県と協議する

問 邑久保育園の南の水田でボーリング調査をしているが、実施設計の完成は。

産業建設部長 3月29日までになっている。25年度に県と協議していく予定にしている。

問 ブルーラインの側道を改良していくことについて。

市 長 まっすぐ南へ延ばしたところへブルーラインから降りることを考えないか。

問 供用開始後3年を経過した地域の水洗化率を上げなければならないと思うが。

市 長 それぞれの家庭の情報も考慮しながら、協力いただくよう、更に啓発していきたい。



邑久保育園とブルーライン間

平原 順二

問 大河ドラマ官兵衛をどういかにするのか

答 市の魅力を全国に発信していきたい

問 平成26年大河ドラマ 軍師・官兵衛が 決まったが、瀬戸内市 としてどのように考えて いるのか。

定を受け、ゆかりの地 域との連携を図りなが ら、当市も歴史文化、 観光振興に前進してい きたい。

総合政策部長

平成26年大河ドラマ 軍師・官兵衛の放送決

問 市長選挙を来年度 に控えて、全職員 の教育と心の通う信頼

関係は瀬戸内市のリー ダーとして、もっとす るべきでは。 **市長** ご指摘のように本当 に大切な事と思う。 謙虚に受けとめ、今 後も全職員の教育と心 ひとつになる事を大切 にしながら、全力で頑 張る。



黒田サミット in 瀬戸内市

問 市道、市有地を利 用したソーラー発 電を行い、瀬戸内市か ら発信し全国のモデル 事業としては。

副市長 「太陽のまちプロジ ェクト」の中で、市道、 市有地の有効利用も可 能性のひとつとして検 討していきたい。

厚東 晃央

問 国保税の引き下げを行うべきではないか

答 負担が少ない国保税を目指していきたい

問 国民健康保険税 (国保税)の引き 下げをしてほしいと 6千筆を超える署名が あり、議会でも関連の 陳情を採択した。 国保税が高いと負担 を感じている市民の負 担を軽減し、市民生活 を支えるという市長の 決断が必要である。 引き下げを行うべき ではないか。

市長

多くのみなさんからの 署名と議会での陳情 に対する採択は、非常 に重く受け止めている。 今、結論は出せない が、できる限り負担が 少ない国保税のあり方 を目指していきたい。

問 市民の健康を守る ために行っている 特定健康診査は、受診 率30%と低いが、改善 をしていくべきではな いか。

市民生活部長

今年度は、特定健診 とがん検診をセットに

したり、案内用チラシ を作成したり、ホーム ページで啓発活動を 行った。 今後は、検査項目や 総合健診の実施回数を 増やしていく。 また、送迎バスの運 行も考えている。



健康診査を受けた方を対象に行われている「健康教室」

島津 幸枝

問 福田・今城保育園に一時保育の実施を

答 施設整備を含め、検討したい

問 邑久保育園の一時 保育は、希望者が 多く受け入れを断られ る状況。福田保育園や 今城保育園でも一時保 育を実施してはどうか。

保健福祉部長

一時保育の受け入れ については実施するス ペースがないことが一 番大きな要因になって いる。施設整備を含め た市内保育園の将来計 画の中で検討したい。 例えば福田保育園に 隣接した民間の空き施 設を早急に子育ての拠 点づくりの施設として 活用すべく検討してい きたい。

2クラスに分けるよ う保育室の整備を。

教育次長

文部科学省の規定で は定数35人を超えた場 合2クラスにすると定 められている。 空いている保育室が ないため、施設の増設 が根本的な解決策であ り、今後の検討課題と

なっている。 **問** 錦海塩田跡地を観 光の拠点やグラウ ンドゴルフ場などを計 画に盛り込んで。 **総合政策部長** 現在計画を策定中。 市全体への波及効果 の高いものを計画して いかねばならない。

問 邑久幼稚園の3歳 児は35人で1つの クラスとなっている。



活用が期待される JA 旧福田支所

木下 哲夫

問 小・中学校における諸問題解消は

答 教育委員会・市長部局で今の努力を応援

問 市町村別交通危険 度県下ワーストに ついての分析と対策は。 **教育長** 命にかかわる重大案 件と捉え、危険箇所を 分析し通学路を見直 し、交通指導と啓発に 努めている。

策と解消への取り組み は。

教育長

瀬戸内市の発生率は 県下でも高く憂慮すべ き事態と考え、関係機 関と連携し、減少に積 極的に取り組んでい る。

教育委員長 委員の考えは反映で きている。今後も実態 把握を行い、学校教育 向上に努めたい。 **市長** 教育委員会・市長部 局で今の努力を応援す る。

問 問題行動(不登 校・いじめ・暴力 行為等)についての対

問 学力向上について の取り組みは。 **教育長** すべての学校で学力 ・学習状況改善プラン を作成し授業改善を進 め、学習環境を整え学 校と連携し、学力向上 を推進している。

問 教育委員 の考えは 問題解消の取 り組みに反映 されている か。 **市長** また、市長 部局の協働機 制は考えてい るのか。



河本 裕志

問 ごみ減量目標を仕切り直しては

答 インパクトのある目標を掲げていきたい

問 ごみ30%減量で、経費はどのくらいか。

市民生活部長

22年度、23年度に約1千万円、資源ごみ回収推進団体の補助金として出している。

市長

今までの取組みが、必ずしも効果がなかったとはいえない。

ざつ紙等の分別は、浸透してきている。

資源ごみの回収団体に対する補助金も、子ども達の活動や自治会等、団体の活動に充てられ、地域の中で循環するお金として、活用されている。

問 ごみ減量目標は、3年30%である

が、もう一回仕切り直しをして新たに実現可能な目標設定をしては。

市民生活部長

新たな目標を掲げる場合、どういう考え方で、市民に理解していただける設定をするか協議している。

市長

目標値にどういう意味を持たせるのか、再度検討した上で、達成しがいのある、取り組みがいのあるものを研究していく。



石原 芳高

問 急性期（救急）患者の対応について

答 原則として、直近の救急病院へ搬送する

問 瀬戸内市内で救急を要請した場合、約三分割の方が瀬戸内市民病院に搬送されている。

瀬戸内市民病院に搬送されたが、そこで処置が出来ないために、他病院へ搬送されるケースもある。

救命士は非常に厳しい判断を迫られることになるが、搬送先を決める判断基準を問う。

消防長

救急業務規定では、直ちに傷病者の状況を把握し、必要な措置を施して最寄りの救急病院に搬送するものとしている。
一刻も早く医師に診てもらふことを大前提としている。



高規格救急車

問 瀬戸内市民病院で接遇改善が図られて来たことは感じられる。

しかしながら、対応によって患者や関係者が気分を害されるケースが見受けられる。まだまだ接遇改善の余地があるのではないか。

病院事業管理者

これからも、接遇を中心とした職員教育に力を注いでいこうと考えている。
今まではあまりやってこなかった医師の接遇教育を始めているところである。

廣田 均

問 津波の高さを表示する必要があるのでは

答 海拔表示板を来年度実施したい

問 国の防災計画の見直しが行われ、当初3.4mと予想された津波の高さは4mと変更された。

住民の方から「4mの津波の高さは、どの位になるか。表示したらどうか。」と尋ねられた。
段階ごとに表示の必要性があるのではないか。

総務部・総合政策部参与

予想津波高を表示すると、これより高い所にいれば安全であると、過信してしまうおそれがある。

また、東日本大震災では、想定を超えた津波が到達している。津波警報もこれから

は、「巨大」とか「高い」といった表現となる。

全国で海拔表示板の設置が進んでおり、当市も来年度に表示板の設置を実施したい。

総務部・総合政策部参与

問 観光客などに避難場所等周知ができるか。

避難経路の表示はどの

観光客など市外から来られる方には周知ができていない状況である。
避難経路の表示も実施するように検討していく。



他市の津波到達予想点看板

原野 健一

問 メガソーラー構想の実現性は

答 協働歩調でぜひとも実現させたい

問 錦海塩田跡地活用にあたり、連合体より将来的には400ヘクタールに、250メガワットのソーラー発電事業を目指す提案が示された。

情報によると、諸問題から90メガが限度とも聞かれています。

副市長

連合体のプロが実際に計算して検討している。

今後も連合体からの情報をしっかり把握した上で、提案事項等に決定的な違いがあるなら、市民にも報告していく。

市長

連合体と協働歩調で、実現させたい。

問 消防団の分団再編成を行うことでのメリット、デメリットは。

消防長

検討委員会では、現在の16分団を8分団に統合すると決めた。分団組織は大きなが、旧分団が部として存続するため、メリットはあるがデメリットはない。

特に若い消防団員の価値観も変化をしてきている。
幹部一同、努力し活動していく。

問 今までの範囲による分団組織となるが、人間関係、コ



活動が期待される消防団員

馬場 政教

問 災害時の被災者への対応は

答 市職員と識別可能な作業服等を検討する

問 避難所や災害の現場において、行政の関係者であると、一目で識別が可能な統一した作業服が必要ではないか。

聴覚障害者の方々と意思の疎通を図るため、避難所等に、会話カードを配備する必要があるのではないか。

総務部・総合政策部参与

混乱を招かず、いち早く救助を求められるように、避難所等での公助の役割が最大限発揮できるように、市職員であることが識別可能な作業服、腕章等、有効なものを検討する。

保健福祉部長



統一された作業服により一目で市職員と認識可能な例

ている、災害時に役立つカードを参考にしながら、災害時に役立つツールを作成していきたい。

問 学校問題において、道徳教育の充実が従来にも増して強く求められているが、今後どのように行っていくのか。

教育長

規範意識、人間関係を築く力、社会性等の向上と育成をはかるため、各教科の中で道徳心を養っていきけるよう指導、助言を行う。また、参観日等には道徳の授業を積極的に公開する。

久保木 彰

問 発達障がい児への対応を間違えずに

答 教育委員会と保健福祉部の連携を重視

問 「いじめ」と「不登校」の実態と対策はどうしているのか。そして、「発達障がい児」の把握と対応はどうしているのか。

教育長

24年度のいじめの状況は、先生方のいじめを発見するアンテナが鋭敏になっており、認知件数はやや増えているが、これは決して悪いことではなく、重要なのは解消率であると考えている。ほぼ全ての事案が解消の方向に進んでいる。

不登校の23年度の状況は、小学校は県でワースト4位、人数は15人であり、中学校は県でワースト2位、人数は46人という大変深



室崎 陸海

問 知的精神障がい者の施策の将来展望は

答 共同生活援助の介護施設の確保は必要

問 生活の自立及び支援について今後どのように取り組んでいくのか。

保健福祉部長

障がい者の雇用の促進、グループホームの生活の場の確保、自立した生活が送れる福祉サービスを提供できる事業所の奨励、発達支援の必要な児童の生活の指導、集団生活の適応訓練及び児童デイサービスの設立は急務である。

市長

問 市への意見要望について市長に今後の方針を問う。

介護保険の事業計画の中には、障がい者を対象にした特別養護老人ホームの設置は計画されていないが、今後重要な案件になってくると思う。



熱心に作業に取り組む (せとうち旭川荘)

中村 勝行

問 主要なイベントは市が主催すべきでは

答 関係団体等と充分協議する

問 国際交流フェスタや、喜之助フェスティバルは、関係団体の方々が限られた予算(市民活動応援補助金)の中で、大変な努力をされて3年間頑張ってきたが、これらの性格上、市が主催して団体の方々の協力をお願いする方が良いのではないか。

市長

一時的には巨久コミュニティセンターの一部を使用するということが、恒常的には関係団体の方々と協議しながら詰めていく。

市長

いろんな意見を聞きながら反映できるものは反映していきたい。

市長

これまでやってきていただいたことを踏まえて、団体の皆さまとの意見交換を充分しながら、今後の運営方針を考えていきたい。

問 現喜之助記念室を、練習場や、人形制作場をどこに確保する



人形制作風景

問 26年度までに第3期障がい福祉計画は全て完結できるのか。

保健福祉部長

介護保険の事業計画の中には、障がい者を対象にした特別養護老人ホームの設置は計画されていないが、今後重要な案件になってくると思う。

小谷 和志

問 市民病院の地方独立行政法人化は

答 経営能力、財務体質の確保の後に

問 十分な経営能力、財務体質が確保できる見通しが立った後の移行を考えると報告があったが、その見通しをいつまでに立てるのか。

市長

中期財政試算では、



現在の市民病院

新病院での運営が始まる27年度以降の収支を23年度と比べて収入は1.5倍、支出を1.3倍と見込んでいます。

建設資金借入金返済の負担と同時に、新病院では新規の機械器具、また病院本体の減価償却の負担もあるため、

市長

問 地方独立行政法人への移行の見通しが立たなければ、新たな運営形態への移行も検討するののか。

ほかの運営形態としては色々考えられるが、医療・介護・福祉のサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの実現には地方独立行政法人化が最善と考える。

黒字転換となる時期を33年度からと試算している。現在、経営改善に取り組んでいる。23年度決算が赤字決算となったことを踏まえ、見通しを立て

田中 伸五

問 ふるさと納税実施の市外在住の職員は

答 市外在住の職員は2名が実施

問 市外に在住している正規職員で、ふるさと納税を実施している職員数は。

市長

正規職員523名のうち市外在住職員は、191名で、そのうちふるさと納税を実施しているのは2名である。

総務部長

寄附金が全体では、20年度、20万円、21年度、358万5000円、22年度、37万円、23年度、344万円、24年度、11月30日現在で125万円である。市職員では21年度、市外1人、22年度、市外1人、市内1人、23年度、市外2人、市内

教育長

1人、24年度、現在、市外1人となっている。

総務部長 税金の優遇措置もあることの周知を図っていききたい。

問 教育長退任にあたり継続課題は何か。

学校、地域、社会が連携して取り組む学校支援地域本部事業の拡大、充実、教育支援員等の配置、特別支援教育の推進等が早急に取組むべき課題である。

危機感を持って、対応する必要がある。



市外の方へのパンフレット

視察報告 10月15日・16日

産業建設水道常任委員会

視察先 高知県馬路村農協

目的 農業の6次産業化と地域ビジネスについて

人口千人足らずの小さな村の農協が、特産品のゆずを使ったヒット商品を作り上げ、今では30億円以上の売り上げとなっている。昭和40年からゆず栽培が始まったが、青果としての販売は低迷。スタッフは各地の百貨店に足を運び、販売促進のためのPR活動や商品の開発を続け、ポン酢やゆずジュースが完成。



馬路村農協視察の様子

特に、この飲料水が大きな反響を呼び、全国から視察に訪れる人もふえてくる。これら馬路村農協の取り組みは、地域ビジネスであるいは地域づくりの手法として注目されている。

視察先 高知県土佐市

目的 うるめいわこのブランド化について

商工会青年部が中心となって宇佐うるめプロジェクト協議会を設立し、これを加工した商品の開発、販売が始まった。当時、この魚は干物のみで、脂がのった鮮魚の商品はなかった。彼らはそこに目をつけ、ブランド化していくと考え、京都の著名な料亭とのコラボ、市内飲食店へメニュー化の依頼等積極的に販路開拓を行っている。

また、漁師に安定した収入が確保できるような供給システムを確立されている。「ブランド化は、1年や2年ではできない。失敗も多いがとにかくやり続けなければ成功はない。」とのアドバイスを受けた。瀬戸内市においては、ブランド構築事業は2年目。まずは、市民にそのブランド商品のよさを知っていただき、行政と関係者だけではなく市全体でこれを推進し、事業を継続していくことが必要と考えている。

視察報告 11月1日・2日

環境福祉常任委員会

視察先 滋賀県湖南市

目的 発達支援システムについて

湖南市の発達支援システムは、支援の必要な人に対し、乳幼児期から学齢期、就労期まで、教育・福祉・保健・就労・医療の関係機関の横の連携による支援と、個別の指導計画による縦の連携による支援を提供するシステムを取り入れている。横の連携が難しいとされる自治体運営の中、発達支援室に、教育委員会部局から室長（教頭職）を出向させ、保健福祉部局から保健師1名、発達相談員3名、保育士4名を配置することで、生涯にわたり、切れ目のない支援が可能となっている。



湖南市視察の様子

瀬戸内市は、支援ファイルを活用した発達支援を取り組むはじめての場所である。この支援ファイルを活用し、切れ目なく、継続した支援ができるよう、環境や体制について研究を重ねたい。

視察先 三重県亀山市

目的 火葬場整備及び運営について

亀山市は、斎場（通夜や告別式が行える式場）を併設した火葬場を平成21年に整備しており、火葬場業務は一括して業者に委託し、運営している。火葬場整備に関し、建設場所の選定や規模、整備業者選定について詳しく説明を受けた。

また、運営に関しては、歳入よりはるかに歳出が上回った経営であった。瀬戸内市は火葬場建設を予定している。今の財政で、どういう施設、規模、手法が望ましいのか、今回の視察内容を踏まえ研究していきたい。